

新型コロナウイルス感染予防対策規定（江別市民体育館）

大谷地クラブオープンバドミントン大会では、下記2団体のガイドラインに沿って対策を行い、大会を開催いたします。また、感染予防対策は主催者だけではできない部分があるため、会場として使用させて頂く施設の協力を得て対策を行います。

日本バドミントン協会

新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン（3章バドミントン競技大会・イベント実施にあたって）令和3年2月8日（第2版）

https://www.badminton.or.jp/covid-19/docs/ActivityGuidelinesChapter3_20210210.pdf

日本スポーツ協会

スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン改訂版（日本スポーツ協会）2021/2/15改訂

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline4_210215.pdf

上記ガイドラインに沿って大会を開催するため、過去の大会と異なる環境で大会開催することとなります。また、本規定および大会事務局の指示に従わない方の入場を断り、退場して頂きますので、予めご了承ください。

1. 来場者全般について

(1) 大会当日前の2週間、下記に該当する方は来場禁止。

- ・37.0℃以上の熱、咳（せき）、のどの痛み、倦怠感などの症状がある方。
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。
- ・政府から観察期間を必要とされている国・地域への渡航又は当該在住者。および、それに該当する者との濃厚接触者。

(2) 選手以外は極力来場を控え、来場者は必ずマスクと靴袋を持参すること。体育室(1階)へ入る者は上履きを持参し、下履きを持参の袋に入れて会場内へ持ち込むこと（感染予防のため靴箱は使用禁止）。

(3) 選手以外の選手関係者の途中入場を可とするが、極力来場を控えること。来場時は検温と「健康状態確認シート」を記入し、その後に入場を許可する。

(4) 会場内では常にマスクを着用すること（試合中の者以外）。

(5) 選手は、自分の試合・役割（試合後の審判）が終わったら速やかに帰宅すること（表彰は適宜行う）。

(6) 各自が関係するゴミを全て持ち帰り自宅で廃棄すること（施設関係者の感染予防のため）。

(7) 会場設置のQRコードから「北海道コロナ通知システム(*1)」に登録すること（札幌市が推奨）。

(*1)北海道コロナ通知システム（北海道のホームページ）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/coronaalertsystm.htm>

(*2)健康状態確認シート（個人および1人用）

<https://www.badminton.or.jp/covid-19/docs/checkindivisual.pdf>

(*3)健康状態確認シート（団体および複数人用）

<https://www.badminton.or.jp/covid-19/docs/checkteam.pdf>

2. 大会当日の受付方法

感染予防対策の1つとして来場者を極力制限する必要があり、下記の方法で受付を行う。

- (1)入場時、競技室前で選手と同伴者が全員揃った状態で受付を行い、その後に入場を許可する。
- (2)小学生は保護者と同時に、中学生は保護者または引率者と同時に受付を行うこと。
- (3)受付時間短縮のため、極力、来場前に自宅などで「健康状態確認シート」を記入し、持参すること。
- (4)「選手単位」または「家族単位」に受付を行う（「健康状態確認シートの単位」で受付）。
家族などの同伴がなく選手一人での来場者は、「健康状態確認シート（個人および1人用）」を使用。
2人以上は「健康状態確認シート（団体および複数人用）」を使用し、選手と同伴者全員分を記入。
人数が多いチームは、選手ごとに「健康状態確認シート」を記入し、持参するとスムーズ。
- (5)受付では「選手用（抽選番号付き）のリストバンド」と「同伴者用（番号なし）リストバンド」を渡す。入場後、速やかにリストバンドを手首につけ、会場内では常時つけること。
※手首にリストバンドをつけていない者は、不正入場者とみなし退場を勧告する。
- (6)入場時に人数制限を行うため、会場の外へ並ぶことを想定し、車での来場でも両具持参を推奨。
- (7)大会プログラム（組み合わせ）は、紙での配布は行わない（必要に応じて自宅などで印刷するか、スマホなどで確認すること）。また、タイムテーブル、組み合わせの掲示も行わない。

3. ゲーム（試合）前の対応

- (1)選手は、予備のラケット、タオル、ドリンクボトルなどは床に置かず、ラケットバッグなどに入れ、コートサイドに置く（選手用の籠（かご）は使用しない）。
- (2)線審(前の試合の勝者)は、もう1人の線審を仲間または同伴者へ依頼する。線審をできる仲間や同伴者がいない場合は、自ら本部席へ線審の要請をすること。
- (3)主審(前の試合の敗者)は、本部席設置のアルコール消毒液で手を消毒し、その後、スコアシートとシャトルが入った籠（かご）を受け取る。
- (4)主審および線審は、各コートに設置されているアルコール消毒液で手を消毒する(手袋着用は不要)。

4. ゲーム（試合）中の対応

- (1)選手は、選手同士や審判員と握手やハイタッチは行わない。
- (2)シャトル交換の際、主審はシャトルに触れず、選手が自ら籠（かご）のニューシャトルと交換する。
- (3)ニューシャトルがなくなったら、主審が使用後のシャトルが入った籠（かご）を本部席へ持参し、交換を要求する。
- (4)線審は、指定の合図を行い、コールをしない。
- (5)大きな声での会話、応援（声援）は禁止。他の来場者と極力2m以上距離を保ち、応援または待機すること。
- (6)ラケット、タオル、ドリンクボトルなどは、他の人と共用しない。
- (7)シューズの靴底を素手で拭うなど、靴底を直接素手で触らない。
- (8)手で拭った汗を飛び散らさない（汗はタオルで拭く）。

5. ゲーム（試合）後の対応

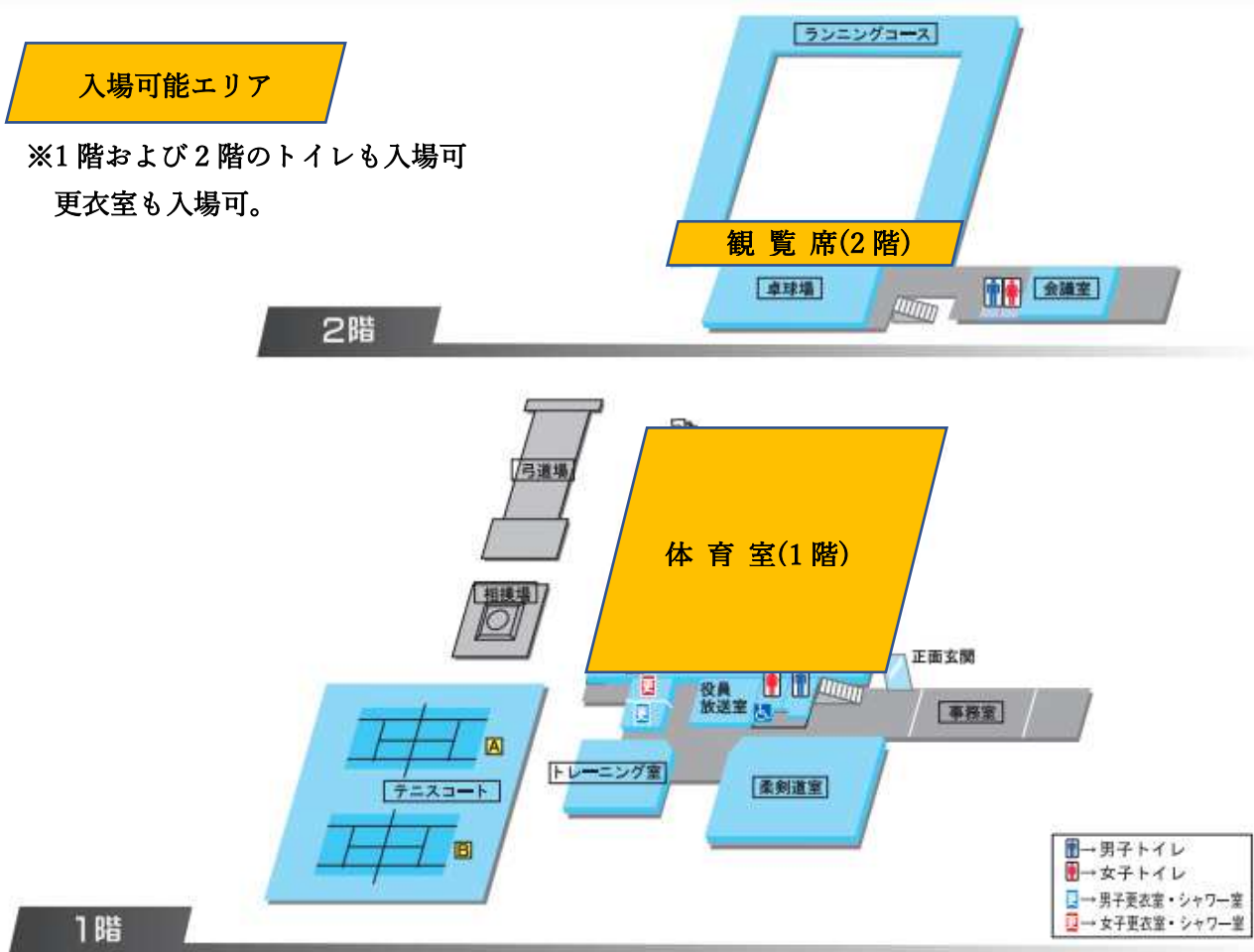
- (1)主審は、勝者のサインをもらったあと、敗者へ籠（かご）を渡し、本部席へ行くよう伝える。
- (2)線審は、座った椅子を据え付けの除菌シートでふき、その除菌シートを椅子後部のゴミ袋へ捨てる。
- (3)主審と線審は、必要に応じてモップがけを行う。

6. 環境面について

十分に換気を行うため、江別市民体育館では、競技室最上部の窓(*4)と、競技室のロビー側の出入口(*5)を開け放つなどにより、下記の点が過去の大会と異なる。

(*4)窓の遮光カーテンを閉めるが風でカーテンが動く。(*5)遮光カーテンなどは設置しない。

- (1)窓と出入口を開放することで、風と外の光が競技室へ入る。
- (2)外気が競技室へ入ることで、湿度が上がり、床が滑りやすくなる場合がある。
- (3)更衣室のロッカー、シャワーは使用不可（更衣室は使用可）。



江別市民体育館の玄関の見取図

